

MOBO TenkeyPad 2 Duo

モボテンキーパッド2デュオ

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品やOSのバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険	死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
	警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意	軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。
		気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
		してはいけない「禁止」の内容です。
		必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

△危険

- 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用・保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- 本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- 各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

△警告

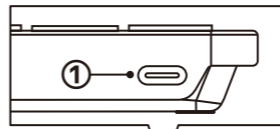
- 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- 本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
- 小さなお子様の手が届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- 製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- 各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと挿し込んでください。
- 各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

△注意

- 静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- 動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- 以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- 本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で挿し込んでください。
- 使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

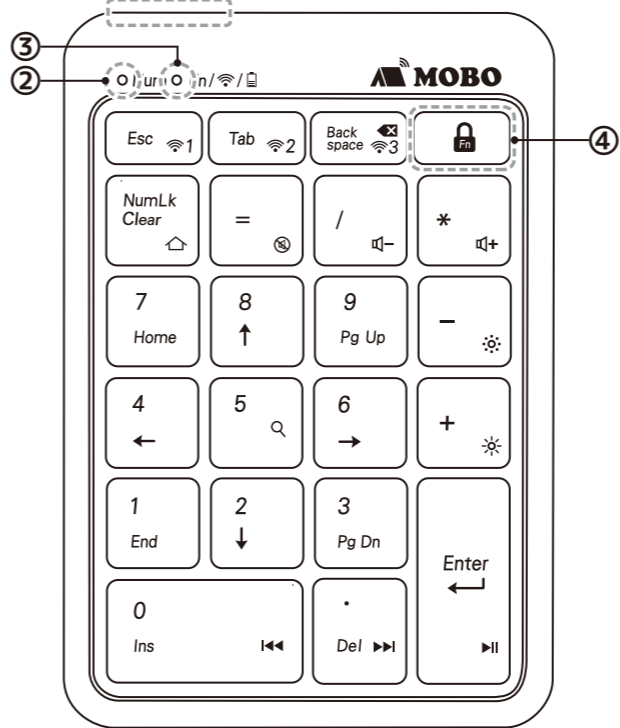
機器の説明 (1/2)

表面

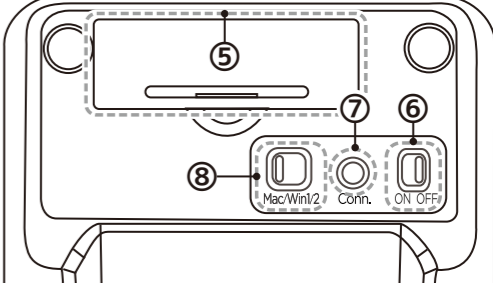


① USB-C ポート

パソコンとデータ通信可能なUSB-C to Aケーブル(付属)を接続して使用します。



裏面



② NumLock ON / OFF LED インジケータ

本製品裏面の「モード切替スライドスイッチ」を、Win1(NumLock連動/通常)モードまたはWin2(NumLock非連動処理)モードにセットしてWindows11やWindows10端末で使用する際、NumLockのステータスを表すLEDインジケータです。

Win1モードの時：パソコン(OS)側のNumLockがONの時、連動してLEDインジケータが青色で点灯します。

Win2モードの時：本製品のNumLockをONにしたとき、LEDインジケータが青色で点灯します。

③ Function Lock/Bluetoothチャンネル / バッテリー残量表示LEDインジケータ (Fn/Bluetooth/インジケータ)

上記3つの状態などを表示するインジケータです。

- ・青色で点滅… Bluetooth®がペアリングモードである
- ・青色で点滅⇒消灯状態になる… Bluetooth®ペアリング完了⇒接続
- ・青色で点灯…FnキーロックモードがONの状態(7ページ参照)
- ・赤色で点滅… Bluetooth®の接続先が見つからない/接続できていない
- ・赤色で点灯…バッテリー(電池)の残量が少ない⇒電池交換目安

ペアリング・無線接続における注意点 (※必ずご確認ください)

・WindowsやmacOSのOSバージョンアップや定期的なアップデート等の後に、OS側の仕様でペアリング情報が消去される場合があります。以前のペアリング情報を削除して、パソコンやタブレット等の再起動を行ったのちに、ペアリング作業を再度やり直してください。

・USB Dongleタイプの受信機を使って、本製品とのペアリング・接続を行う際は、USB2.0ポートヘッドングルを接続してください。USB3.0ポートに接続した場合、電波干渉が発生し、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。

・接続先のパソコン等と本製品の間に遮蔽物、特に磁性体(鉄の机など)がある場合、接続が不安定(例：文字が入力され続けるなど)になったり、接続できない場合があります。接続機器と本製品の間に、できるだけ遮蔽物を置かずにご使用ください。また、電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところや、同じ周波数の電波を使用しているものの近くでは、周囲の環境により、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。

・接続先のパソコン等が、Wi-Fiの2.4GHz帯を利用している場合も、混線が発生して、接続が不安定(例：文字が入力され続けるなど)になったり、接続できない場合があります。その場合は、一旦接続機器のWi-FiをOFFにするか、5 GHz帯など他の周波数帯での接続に切り替えをお試しください。

・Windowsパソコンの場合、再起動した際、使用可能だった本製品が突然動作しなくなったり、意図せずに接続が切断・スリープ状態になったり、再接続できなくなったりする場合があります。その際は、OS側で“Bluetooth®の省電力設定”をOFFにしたり、USB Dongleタイプの受信機を使用している場合は、“高速スタートアップ”“USBのセレクトティブサスペンド”を無効にしてください。

・電波干渉が発生し接続が不安定な場合や、電池の残量が少なくなり動作が不安定な場合で、文字が勝手に連打される等の事象が発生することがあります。その場合は、下記の方法をお試しください。

- 使用しているUSB Dongleタイプの受信機の設定をOS側で変更
- USB Dongleタイプの受信機自体を別のものに交換
- 他のBluetooth®機器の使用を中止する / 一緒に使用しない
- Wi-Fiを2.4GHz帯以外に切り替える
- 電池を新品に交換する

 ※USB有線接続モードで同様の事象が発生しない場合は、上記のいずれかが原因です。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。電波方式はGFSK方式で、干渉距離は10m。2.4GHz帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。

 ※「他の無線局」とは、2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用帯内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

・次の場所では、本製品を使用しないでください。

- 電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
- 同じ周波数の電波を使用しているものの近く

・本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解 / 改造や、本製品の認証ラベルを剥がすこと。

<警告>

- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤作動や、動作の低下、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で各種電子機器や医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式機器を航空機内で使用することは、法律で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源は必ず切ってください。

パッケージ内容

- ・キーボード本体…………… 1台
- ・USBケーブル(C to A)…………… 1本
- ・試用用単4乾電池…………… 1本
- ・取扱説明書 兼 保証書(本紙)…………… 1部

※Bluetooth®受信アダプタは同梱されておりませんが別途ご用意ください。
※付属の乾電池は試供品です。動作確認後は、お客様側で新品をご購入ください。

注意

ご使用前に、内容物がすべて揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

④ Fn キー

■BTチャンネルの選択

+ or or で、BTチャンネルの選択を行います。

チャンネルを切替：同時に押し、すぐ離す
(※ペアリング⇒接続の設定を終えている場合)

選択したチャンネルのペアリングモード開始：同時に長押しする

■Fnキーロックモード

モードがONの時、青/緑で印字された(ペアリングチャンネルの選択を除く)ホットキー、マルチメディアキー、ショートカットキー機能でテンキーが動作します。

【FnキーロックモードをONにする操作方法】

キーを3秒長押し ⇒ 「Fn/Bluetooth/インジケータ」が青色で点灯
※OFFにする際も同じ操作 ⇒ 「Fn/Bluetooth/インジケータ」が消灯

【FnキーロックモードON時の動作】

Esc	Tab			⇨ …デスクトップの表示 <キーコード割り当て> Macモード：F11※1 Win1,Win2モード：Windows + D(ショートカット) (※1:OSのショートカット設定が初期状態で機能します)
⇨				🔍 …検索 Macモード：Spotlight 検索 Win1,Win2モード：Windows Search
Home	↑	Pg Up		※ …内蔵ディスプレイの輝度を下げる ※ …内蔵ディスプレイの輝度を上げる
←	🔍	→		
End	↓	Pg Dn		
				▶▶ …再生一時停止 ▶▶ …前のトラックへ ◀◀ …次のトラックへ
				…音声ミュート …音声を下げる …音声を上げる

⑤ 電池カバー

このカバーを取り外して、単4乾電池を入れます。

【カバーの外し方】

- ①半月状の溝に指を少し入れて、カバー側に軽く押し上げます。
- ②カバーの爪がケースから抜けて、カバーを開けることができます。

【電池の入れ方】

- ①カバーを開けると、電池収納スロットが現れます。
- ②スロットの底面に電池を入れる方向(極性)の図が記載されています。
- ③その図に合わせて電池を入れてください。※正しい極性で入れてください。

注意	長期間使用しない場合は、必ず乾電池を取り外してから本製品を保管してください。取り外しせずに保管し、乾電池からの液漏れが発生すると、電極や基盤が損傷し使用できなくなります。(※液漏れによる故障は保証対象外です)
-----------	--

⑥ 電源スライドスイッチ

Bluetooth®接続をする際に、乾電池から本体への電源供給をONにするスイッチです。USBによる有線接続で使用する場合は、本製品自体を使用しない時はOFFにしてください。

⑦ ペアリング / リセットボタン

Bluetooth®ペアリングを行う際や、本製品側の各BTチャンネルのペアリング情報をリセットしたい場合に使用します。爪楊枝などの先端の細いもので押すと軽いクリック感があります。

⑧ モード切替スライドスイッチ (Mac/Win1/Win2)

3つのモードを切り替えるためのスライドスイッチです。各位置でカチッという感触がある場所までスライドします。

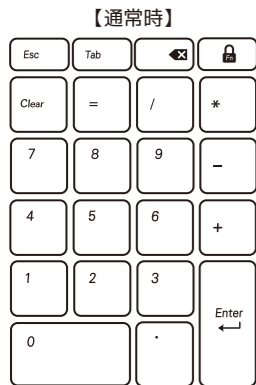
スイッチ：左端 … Macモード

スイッチ：中央 … Win1[NumLock連動/通常]モード

スイッチ：右側 … Win2[NumLock非連動処理]モード

機器の説明 (2/2)

■Macモード (スイッチ:左端)



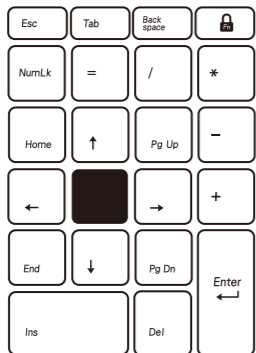
macOS には
NumLock 機能は存在しません。

■Win1 [NumLock 連動/通常] モード (スイッチ:中央)

【NumLock ON 時 (OSと連動)】



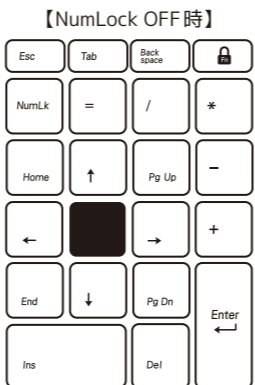
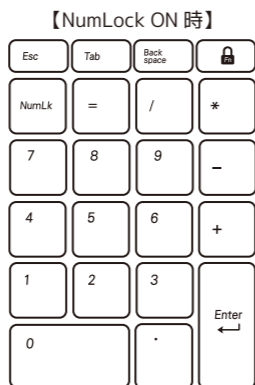
【NumLock OFF 時 (OSと連動)】



■デスクトップパソコンや数値入力モードのないノートパソコンにオススメのモード

※=(イコール)キーには、OSのハードウェアキーボードレイアウトが、英語/日本語どちらの配列設定になっていても正しく動作するように、ASCIIコードを割り当てています。

■Win2 [NumLock 非連動処理] モード (スイッチ:右端)



■数値入力モードを持つノートパソコンにオススメのモード

※=(イコール)キーには、OSのハードウェアキーボードレイアウトが、英語/日本語どちらの配列設定になっていても正しく動作するように、ASCIIコードを割り当てています。
※パソコン(OS)側のNumLockの状態に関わらず動作させるために、矢印キー、Home、End、PageUp、PageDownはキーボード側のキーコードを割り当てています。

【NumLock非連動処理モードとは?】

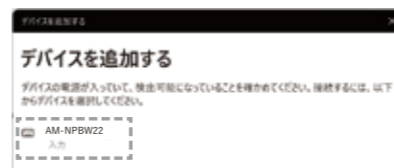
右図のように、一部ローマ字キーなどにテンキー機能を割り当て、テンキー同等の操作が可能な「数値入力モード」を搭載したノートパソコンがあります。通常外付テンキー(もしくはテンキー有の外付けキーボード)をノートパソコンにつなげると、WindowsOSの仕様上、ノートパソコンと外付けテンキーのNumLockは連動します(OS側のNumLockがONになると、外付けテンキーのNumLockも連動してONになる)。そのため、数値入力モードを使用する場合、ノートパソコン側のNumLockをONにする必要がありますが、ノートパソコン側のキーボードで文字入力をする時は、都度NumLockをOFFにする必要があります。

本製品のNumLock非連動処理モードでは、テンキー側のNumLockインジケータ点灯時だけ、OSと連動せずにテンキー側だけで数字入力ができるように処理設定を行っています。ノートパソコン側のNumLockを都度切り替えせずとも、ノートパソコン側ではローマ字入力、テンキー側では数値入力を行うことができます。

Bluetooth®でペアリング/接続する(Windows11) (3/3)

6 パソコンをペアリングする ★パソコン側の操作

ペアリングの準備が完了すると、「デバイスを追加する」のウィンドウに「AM-NPBW22」が表示されます。「AM-NPBW22」をクリックします。



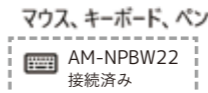
7 ペアリング⇒接続の完了 ★パソコン側の操作

① 接続されると「デバイスの準備が整いました!」と表示されます



② テンキー側の「Fn/🌀/🔒インジケータ」が消灯し、接続されます。

③ 「デバイスを追加する」のウィンドウを閉じ、マウス、キーボード、ペンの欄に「AM-NPBW22 接続済み」と表示されていることを確認します。



※初回ペアリング時は、接続までに時間がかかる場合があります。

Bluetooth®でペアリング/接続する(macOS) (1/2)

1 「システム設定」画面を表示する ★macOS側の操作

右上の林檎マークをクリックし、メニューより「システム設定」を選択、もしくは「システム設定」アイコンをクリックします。(※下図参照)



「システム設定」アイコン

メニュー

Bluetooth®でペアリング/接続する(macOS) (2/2)

2 Bluetooth®の設定確認 ★macOS側の操作

「システム設定」の左メニューより「Bluetooth」を選択し、Bluetooth®機能がONになっていることを確認します。



3 テンキーのペアリングモードを開始する ☆テンキーボード側の操作

① 本製品裏面の「モード切替スライドスイッチ」を「Mac」へ切り替えます。



② 電源スライドスイッチをONにします。



③ 7ページ「BTチャンネルの選択」の操作で登録したいチャンネルを選びます。
④ ペアリングが開始されると、本製品の「Fn/🌀/🔒インジケータ」が青色で点滅します。点滅しない場合は、本製品裏面の「ペアリング/リセットボタン」を押し、Bluetooth®ペアリングを開始します。

4 ペアリング⇒接続の完了 ★macOS側の操作

① ペアリングモードを開始すると、「近くのデバイス」の欄に「キーボード」または「AM-NPBW22」が表示されます。

② そこにカーソルを合わせると右端に「接続」アイコンが表示されるのでアイコンをクリックします。



③ 「接続されました」というポップアップが表示され、消えます。

④ 「自分のデバイス」に「AM-NPBW22 接続済み」と表示されていることを確認します。



※初回接続時、自動でmacOSの「キーボード設定アシスタント」が立ち上がる場合があります。テンキーは配列設定の必要がありませんので、「終了」を押して閉じてください。

USBで有線接続する

① 本製品裏面の「モード切替スライドスイッチ」を、接続先デバイスに合わせ切り替えます。



② 付属のUSBケーブルを本製品のUSB-Cポートに接続、反対側のコネクタをパソコンのUSB-Aポートに接続します。



Bluetooth®でペアリング/接続する(Windows11) (1/3)

※Windows®標準のBluetooth®機能を使用する場合

1 「設定」画面を表示する ★パソコン側の操作

【方法1】スタートメニューから起動する

① 「スタート」ボタンをクリックしてスタートパネルを表示します。
② スタートパネルにピン留めされている「設定」アイコンをクリックすると、「設定」画面が開きます。



【方法2】システムメニューから起動する

① キーボードで「スタート」ボタン右横の検索窓に「設定」と入力します。
② 表示されたメニュー(システムメニュー)から「設定」を選択します。



「スタート」ボタン(Windowsマーク ※タスクバーの左端)

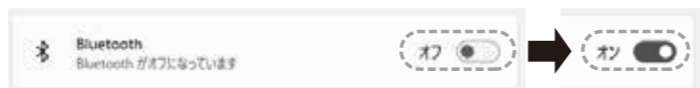
2 「Bluetoothとデバイス」画面を表示する ★パソコン側の操作

「設定」画面の、左側のメニューより「Bluetoothとデバイス」をクリックします。

Bluetooth®でペアリング/接続する(Windows11) (2/3)

3 Bluetooth®の設定確認 ★パソコン側の操作

「Bluetoothとデバイス」画面で、「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。



4 「デバイスを追加する」画面を表示し、パソコン側のペアリングの準備をする ★パソコン側の操作

① 画面上段の「デバイスの追加」もしくは、中段の「デバイス」横の「デバイスの追加」アイコンをクリックします。



② 「デバイスを追加する」画面が表示されたら、デバイスの種類から「Bluetooth」をクリックします。



5 テンキーのペアリングモードを開始する ☆テンキーボード側の操作

① 本製品裏面の「モード切替スライドスイッチ」を「Win1」または「Win2」へ切り替えます。



② 「電源スライドスイッチ」をONにします。



③ 7ページ「BTチャンネルの選択」の操作で登録したいチャンネルを選びます。
④ ペアリングが開始されると、本製品の「Fn/🌀/🔒インジケータ」が青色で点滅します。点滅しない場合は、本製品裏面の「ペアリング/リセットボタン」を押し、Bluetooth®ペアリングを開始します。

製品仕様

キー数	22キー
キースイッチタイプ	パンタグラフ (アイソレーションタイプ)
キーピッチ	約 19mm
キーストローク	約 1.9mm
キー耐久回数	約 500 万回
Bluetooth®規格	Bluetooth ver.5.1 Class2
対応プロファイル	HID
通信方式	GFSK
電波周波数	2.4GHz
動作可能距離	10m (Bluetooth®接続時・遮蔽物なきこと)
USBポートタイプ	USB-C (USB Type-C) (着脱式) ※USB有線接続時利用
データ転送方式 (USB接続時)	USB2.0
定格電圧	1V - 1.5V
電源	USBバスパワー (USB接続) / アルカリ単4乾電池1本 (Bluetooth®接続)
連続使用時間 (BT)	最大約 250 時間 (※単4乾電池が新品の時)
動作温度	10 ~ 45℃
対応 OS	Windows11 / Windows10 / macOS
キーキャップ印字	シルク印刷 (UVコーティング)
材質	ABS、ポリカーボネート
ケーブル長	約 45cm (コネクタ含まず)
本体サイズ	約 W90 × D132 × H9.1~18 mm
重量	約 76g (本体のみ)
製造国	中国

トラブルシューティングや製品に関するFAQは、下記のページで公開していますのでご参照ください。

<https://mobo-jp.com/faq>



販売元 株式会社アーキサイト

〒110-0006
東京都台東区秋葉原5-9 明治安田生命秋葉原ビル
<https://archisite.co.jp/>
サポートダイヤル | 03-6859-0284
受付時間 | 10:00~12:00 / 13:00~17:00
(弊社指定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)